

[子育て支援の拠点・保育一元化施設こども園]

習志野きらっとこども園特区（千葉県習志野市）

背景

公立幼稚園 15 園の定員割れ（平均入園率 52.5%）
公立保育所 14 所の入所児の増加及び待機児の増加
施設の老朽化
子供同士の交わりの場の不足
子育て支援に対するニーズの多様化

計画のポイント

幼稚園・保育所の共用化だけでなく、地域子育て支援施設も併設し子育ての拠点化を図る
幼稚園教育要領・保育所保育指針・本市保育一元カリキュラムに基づく保育・教育を実施し、こども園構想の理念を実現
幼保合同活動の実施や多様な保育の実施
特別保育事業などの多岐にわたる子育て支援事業の実施

計画記載の効果

地域の同年齢・異年齢の子どもたちが交わることができ、また異世代の人々との関わりにより子どもの社会性が涵養される。
地域の子育て・子育て拠点として幼保の合同活動をはじめ多岐にわたる子育て支援の取り組みを実施することによる地域の活性化。

規制の特例・支援措置

幼稚園における幼稚園児と保育所児の合同活動の容認
保育所における保育所児と幼稚園児の合同活動の容認

状況・実績等

子育て子育ての拠点として、市内全域にこども園をバランスよく整備することを最終目標として、まず第一園目である東習志野こども園を平成 16・17 年建設。平成 18 年 4 月本格開設のため準備を行っている。